

地域で育て・地域を愛する南っ子

大野市有終南小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	2回
中学校区を単位とした協議会	1回
地域及び家庭への学校公開	5回(のべ)5日

(2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	37人
授業ボランティア(含:低ボラ)	84人
登下校支援ボランティア	27人
その他()	人

(3) 特色ある活動

テーマ「 その他(信頼される学校) 」

○8月23日(火) 開成中学校と合同の地域・学校協議会を初めて開催した。小中学校の9年間をどのように健全に育てていくかをそれぞれの立場から意見交換した。

○9月28日(水) 校内体育大会では、児童の熱中症対策のため、児童の控え所にテントを設置した。テント12張りを公民館や別の小学校から借り受け、保護者と教職員が協力し、1時間ほどの時間をかけ設置した。大会当日は晴天。まさにテントの威力が発揮された。大会終了後、大会を参観していた多数の保護者の協力を得て、テント等の後始末をした。

○10月23日(日)「湧く湧く水サミット(本願清水イトヨの里会館開館10周年記念事業)」において、3年生が総合的な学習の時間に学んだイトヨの歴史や生態について、劇で発表した。発表会場である「めいりん」の講堂は保護者を含め地域の方々で超満員。立ち見の人がいるほどだった。3年生一人一人が自分の役割を精一杯努め、発表した3年生も劇を鑑賞した方々も共に満足のいく発表会となった。



〈関西フィルの伴奏でビリーブを歌いました〉

○10月23日(日) 地域・学校協議会会長の発案のもと、初めての地域・学校フォーラムを開催した。保護者や学校職員だけでなく地域の方々が集まり、「地域で育てよう 未来からの使者」をテーマに、事例発表、講演、そしてパネルディスカッションを行った。

○10月27日(木) PTA役員会と共催で、関西フィルハーモニー管弦楽団を招いて鑑賞会を開催した。60名余りの楽団員によるフルオーケストラの生演奏を全校児童と100名ほどの保護者や地域の方々が一緒に聴いた。最後には、オーケストラの生演奏に合わせてビリーブと校歌を合唱した。関西フィルの担当者からは「児童の歌声にオーケストラの生演奏が負けていた。こんなことは初めてだ」との感想を頂いた。

成果と課題

「心も体もかっこいい南っ子」が本校のキャッチフレーズ。学校内外で活躍する子どもたちの様子をじかに見ていただき、心も体もかっこよく育った南っ子にお褒めの言葉や声援をいただいた。学校便りで学校の考えを広く知らせたり、逆にご意見をいただいたりして、学校と保護者・地域の方々との双方向のやり取りを行いながら、信頼される学校を目指した。